

第3 - 4 - 10表 元気なモノ作り中小企業  
- 地域資源を活用している企業例 -

2006年

企業名	都道府県	内 容
企業 A	北海道	開拓の歴史において、農耕、炭鉱などに重要な役割をはたした馬。その馬具作りを引継ぎ、競馬用の鞍やカバンなどを手掛ける。
B	広島県	200年の筆製造の伝統技術を応用した化粧筆を開発。有名ブランドに採用されるなど世界シェア60%。

2007年

企業名	都道府県	内 容
企業 C	北海道	酪農家の負担軽減のため、乳牛の給餌を機械化し、酪農業の経営強化に貢献(50頭に5時間掛かっていたのを15分に)。
D	北海道	地元の素材にこだわった高品質のお菓子を開発。夕張メロンを使ったゼリーやとうきびを使ったチョコなどが有名。
E	北海道	地域資源 鮭皮 からコラーゲン(タンパク質の一種)を抽出・精製。食品、化粧品、研究試薬として付加価値をつけ販売。
F	北海道	地域に豊富に植生された針葉樹を用いた、構造用合板の製造。森林組合と植林の供給システムを確立し、地域と一体化。
G	岩手県	地元の伝統工芸品 南部鉄器 に改良を加え、錆びにくい鉄器の開発に成功。
H	山形県	日本最古の工芸鋳物山地 山形鋳物 を伝承し、時代に合った商品を生み出す。
I	群馬県	群馬県産の絹を使い、絹糸を繭の状態で染色する技術を開発。これまでにない色合いの絹糸を創りだす。
J	福井県	地場産業である メガネフレーム の開発に取り組む。世界100カ国にネットワークをもち、国内最大規模の生産高。
K	京都府	京都の伝統産業 金銀糸 の製造技術を活かし、フラットパネル用や回路基盤用などに用いる高性能フィルムを製造。
L	和歌山県	県の特産物 梅 を素材とした梅果汁、梅肉エキスを製造販売。梅果汁の出荷量は80%。
M	鳥取県	千年の歴史を持つ 因州和紙 の伝統を継承し、抗菌壁紙、立体漉き和紙などの技術を確立。
N	島根県	全国的にも有名な石見地方の 石州瓦 に改良を加え、赤褐色以外の色を発現させたなど、深みと落ち着きのある瓦を実現。
O	広島県	国内最大の筆の産地である熊野町で、800アイテム以上の化粧ブラシを製造。自社ブランドを国内外で確立。
P	愛媛県	今治伝統のタオルを活用し、環境と人間に優しいブランドを確立。1枚3,360円のタオルは厳しい安全規格をクリアし世界市場で支持。
Q	愛媛県	紙どころ四国においてメーカーニーズを的確にキャッチし、全自動巻取ロール放送機は日本一の生産量など、なくてはならない存在。
R	鹿児島県	膨大なシラス(火山灰)が堆積している県内でシラス活用の研究を重ね、緑化基盤材として工業資源化に成功。

(備考) 中小企業庁「元気なモノ作り中小企業」より作成。